

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	ユウゲンガイシャゲキダンカゼノコ		
制作団体名	有限会社劇団風の子		
代表者職・氏名	取締役 金田 拓		団体ウェブサイトURL
			https://www.kazenoko.co.jp
制作団体所在地	〒	192-0152	最寄駅(バス停)
	東京都八王子市美山町1320-1		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな	ゲキダンカゼノコ		
公演団体名	劇団風の子		
代表者職・氏名	取締役 金田 拓		団体ウェブサイトURL
			https://www.kazenoko.co.jp
公演団体所在地	〒	192-0152	最寄駅(バス停)
	東京都八王子市美山町1320-1		
制作団体 設立年月	昭和25年7月1日		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	取締役／金田拓 事務局長／岡本圭 制作部長／浅野井優子 創造担当／竹添秀憲 運営委員／菅原武人、吉野由起		【構成員】俳優9名、制作・事務所6名、文芸・演出2名 【加入条件】劇団風の子国際児童演劇研究所卒業者及び一定の経験者、18歳以上の健康な方
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	岡本圭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	西川恵美子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	okamoto@kazenoko.co.jp		0426521001

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1950年7月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『子どものいるとどここへでも』を合言葉に、全国を巡演。1983年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在「有限会社劇団風の子」は首都圏を拠点に活動している。</p> <p>また、児童劇団の全国的な公演活動を受け、1975年に「日本児童演劇劇団協議会(現/日本児童・青少年演劇劇団協同組合)」設立に関わり、劇団創設者の多田徹が1990年まで代表幹事を務めた。多田は1979年には「アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)日本センター」設立にも関わり、以来これら統括団体へ理事を送り出している。</p> <p>【受賞歴】「カレドニア号出帆す」都児童演劇コンクール奨励賞・NHK脚本賞・都優秀児童演劇選定優秀賞／「宝のつるはし」都児童演劇祭優秀賞・児童福祉文化奨励賞／「ジョディとフラッグ」都優秀児童演劇選定優秀賞／「小さい劇場」都優秀児童演劇選定優秀賞／「チワンの星」都優秀児童演劇選定優秀賞／「突然の陽ざし」都優秀児童演劇選定優秀賞・斎田喬戯曲賞・文化庁優秀舞台芸術奨励公演／「風の子パズール」都優秀児童演劇選定優秀賞・中央児童福祉審議会特別推薦・厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／「お祭りどんぶり」都優秀児童演劇選定優秀賞／「ぼくたちの南十字星」都優秀児童演劇選定優秀賞・中央児童福祉審議会特別推薦／「ガヤガヤとムツツリのたんじょうび」中央児童福祉審議会特別推薦／「おはなしちんどん」社会保障審議会特別推薦・児童福祉文化賞推薦／「陽気なハンス」日本児童演劇協会賞・厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財その他多数</p>	
	学校等における公演実績	<p>【2019年度実績】12作品787日919ステージ 【2020年度実績】12作品335日515ステージ＊コロナウイルス感染症流行 【2021年度実績】12作品408ヶ所473日799ステージ＊密を避けるために日数ステージ数増 【2022年度実績】9作品525ヶ所573日924ステージ＊密を避けるために日数ステージ数増</p> <p>【2023年度実績】8作品500日646ステージ 【2024年度実績】6作品501日599ステージ ＊2024年度内訳 ●小学校公演…170日220ステージ ●ちえんじ・図書室のすきまから84日109ステージ、とんからり40日57ステージ、風の一座7日7ステージ、ソノヒカギリ美術館39日47ステージ ●幼稚園・保育園公演…292日336ステージ ●その他…39日43ステージ</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>都立南大沢学園／岡山県新見市健康の森学園／宮崎県日南市くろしお支援学校／福島県会津若松市特別支援学校／広島県庄原市特別支援学校／埼玉県日高市特別支援学校／静岡県伊豆の国市東部特別支援学校／青森県青森市青森県立青森若葉養護学校／北海道黒松内町北海道余市養護学校しりべし学園分校／北海道札幌市手稲養護学校／群馬県立沼田特別支援学校／岐阜県立恵那特別支援学校／北海道帯広養護学校／北海道中標津支援学校、など</p> <p>公演だけでなく、子どもたちの実情に合わせながらのワークショップも多く手掛けています</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/AOaAfV9A7zs	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 劇団風の子 】



対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	劇団風の子「ちえんじ・図書室のすきまから」 ～自分を好きになるための物語～
-----	---------------------------------------

企画のねらい	<p>子どもたちが自分らしく、自信を持って生きるための自己肯定感を引き出すことをねらいとしています。それは「生きる力」につながります。</p> <p>「自分が嫌い」を心に抱え込み、居場所を探している多くの子どもたちと出会う中から生まれた作品です。ワークショップでは心を開放し、表現する楽しさ、自由に発想する喜びを感じ、本公演で参加・共演することで、達成感、自己肯定感を得てほしいと思います。</p> <p>生きていければ置くこともあります。心が折れそうになることもあります。困難にぶつかった時、「ちえんじ・図書室のすきまから」が、子どもたちの心の支えとなることを願います。</p>
--------	--

演目概要・演目選択理由	<p>【あらすじ】</p> <p>彩花は本が大好きな五年生。一週間後に迫った推薦図書発表。推薦図書を決める話し合いの場で自分の意見を言い出せずにいました。彩花は自分の気持ちをうまく人に伝えることができません。「放課後までに決めましょう」とクラスメートから言われ、話し合いは終わります。図書室に一人ぼつと残り「変わりたいなあ」とつぶやくと、片隅に見慣れない本が一冊。</p> <p>タイトルは『あなたの願い叶えます』</p> <p>本を開くと、「世界図書向上委員会・ちょさくけん」と名乗る不思議な人物が現われました。どんな願いも叶えますと言われた彩花は自分を変えたいと考えます。しかし、叶えるためには条件がありました。それはアンデルセンの童話「裸の王様」の王様と「ちえんじ」し、「裸の王様になり」最後まで物語をやり遂げること。</p> <p>ところが物語の途中で、彩花の心の奥底から吹き出した「ヒカゲという闇」に物語は呑み込まれ、この世から「裸の王様」の物語が消えてしまいそうになります。物語を取り戻そうと奔走する彩花。自分にできることは何か、必死で考え勇気を持って精一杯やることで、彩花は自分を支え応援してくれている存在に気づき、この体験を通してかけがえのない友を得ます。物語は元に戻り、王様や登場人物たちと喜び合い、裸のパレードはこの日だけ原作とは違う彩花のオリジナルのパレードで清々しく終わります。</p> <p>【ハイライト】</p> <p>いよいよ、全校児童の前での推薦図書発表です。王様との“ちえんじ”を経験し、大きく一步を踏み出した彩花は、友だちの協力を得ながらしっかりと自分の意見を発表します。自分が嫌いでたまらなかった主人公が、自らの力で願いを叶え、「物語を創る人になる」という将来の夢をみんなの前で発表するシーンは、多くの子どもたちの感動を呼んでいます。</p> <p>【巡回・集合公演等実績】</p> <ul style="list-style-type: none">・2022年度 山梨県甲府市小学校巡回公演・2024年度 長野県上伊那地区南部小・中学校巡回演劇鑑賞会(駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村)、山梨県上野原市小学校巡回公演、山梨県甲斐市(旧竜王町)小学校巡回公演、神奈川県伊勢原市小学校巡回公演、東京都新宿区4年生集合公演、東京都武蔵野市3年生集合公演・2025年度 東京都墨田区小学校巡回公演4校、長野県上伊那地区北部小・中学校巡回演劇鑑賞会(辰野町・箕輪町・南箕輪村)、長野県茅野市4年生集合公演(R7学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 文化施設等活用公演)、東京都笑顔と学びの体験活動プロジェクト採択(13校) <p>【演目選択理由】</p> <p>劇団風の子はこの20年ほど公演活動だけではなく、多くの小学校で表現力向上ワークショップやコミュニケーション能力向上ワークショップを行ってきました。そこで「自分が嫌い」を心の片すみに抱え、自分の居場所を探している多くの子どもたちと出会ってきました。</p> <p>本作はコロナウイルス感染拡大が始まった2020年9月に幕を開けました。以降現在まで400校を超える小・中学校で上演し、高評価を得ています。その中に「鑑賞後に一步踏み出す勇気ができました」や「自分を変えるきっかけになりました」という子どもたちの声が届いています。また、多くの先生方や教育関係者から、「自分と向き合うことが他者と向き合うことにもつながった」、「自己肯定の一步になった」、「子どもたちの背中を後押しできる作品だ」という声をいただきました。</p> <p>子どもたちの回りには幼い頃からSNSが存在しています。「つながる」「つながらなくてはいけない」「つながっていかなくて仲間ではない」という表面的なつながりの時代。本作は、自分の意思を持ち、自分を見失わずに立つ、自分を支えるものは何なのか、そして本当の意味でつながるとはどういうことなのか、子どもたちに提示できる作品になっています。</p> <p>物語の中で主人公の彩花は自分ではない他者(絵本の中の裸の王様)になります。他の者になることで見えてくる自分。他者の思いに気づき、自分にも他者を思いやれる心があることに気が付きます。</p> <p>コロナ禍を経て、誰もがコミュニケーション力や自己肯定感が一層低下しているのではないのでしょうか。鼓舞するのではなく、子どもたちの閉じかかった心のドアをそっとノックし続け、寄り添うように一步踏み出すための励ましを届ける本作を選択しました。</p>
-------------	---

児童・生徒の参加 または体験の形態	①参加(全校児童・生徒対象) エンディング曲を全校児童・生徒と歌います。エンディング曲の一部をワークショップの中で作詞します。 ②共演(最大35名程度) 本編にあるバレードの場面に街の人として出演していただきます。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			参加・体験人数目安	【バレードのシーン】最大35名 【エンディング曲】全校		【エ
				鑑賞人数目安	450名		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「ちえんじ・図書室のすきまから」 作・演出／大淵弘幸 美術／ナカムラジン 音楽／青柳拓次 振付／原田亮 効果／笠井玲子 制作／浅野井優子						
	公演時間	75	分				
出演者	大堀鷹、金子晋太、熊坂理恵、菅原武人、竹添秀憲、水流梨津美(予定)						
演目の芸術上の中核 となる者(メインキャス ト、メインスタッフ、指 揮者、芸術監督等)の 個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	演出:大淵弘幸(演出・脚本家、表現ワークショップ講師) 1962年北海道生まれ。大学時代から人形劇の作品を生み出す。1985年劇団風の子入団。役者として全国を巡演、小作品の作・演出、中高生と芝居創りなどもおこなう。2016年アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)理事に就任。2018年劇団風の子代表取締役就任(～2023年)。2018年日本児童・青少年演劇劇団共同組合理事に就任。2025年8月からフリーとして活動。 出演:菅原武人(王様役) 1966年神奈川県生まれ。1988年劇団風の子国際児童演劇研究所入所。1989年劇団風の子入団。以来役者として多数の作品に出演。2023～2025年劇団風の子代表取締役に就任(役者と兼任)。 舞台美術:ナカムラジン 1959年長野県生まれ。1984年信州大学教育学部美術科工芸(鋳金)研究室卒業。8th日本グラフィック展協賛企業賞受賞。1987年JACA1987日本イラストレーション展入選(伊勢丹美術館)。2000年第1回イルフビエンナーレ童画大賞展入選。長野県に拠点をおき、展覧会を多数行っている。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	6	名	運搬	積載量:	3	t
	スタッフ:	1	名		車 長:	6.46	m
	合 計:	7	名		台 数:	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	7:00	7:00～(リハーサル)～12:00		13:30～14:50	なし(暑い 時期等入 れること も可能)	15:00～17:00	17時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月
					4日		9日
	10月		11月		12月		1月
			5日		14日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計	32日
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)							
	 <div data-bbox="399 1747 507 1796" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">別添あり</div>						
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況			

別添

なし

【公演団体名

劇団風の子

】

ワークショップの
ねらい

【ねらい】

・コミュニケーション能力の向上

演劇の基本は相手の気持ちを受け取り、自分の気持ちを伝える、「受信と発信」です。これは、人が生きていく上でも他者との関係を築く基本でもあります。最初に行うシアターゲームは周りの人と関係を築きながら進めていく遊びです。劇団風の子の理念「あそびから演劇へ」をもとに75年間活動してきた実績が活かされています。

・豊かな創造力と自己肯定感を育む

第1部のエンディング曲の歌詞を自分たちで考える。第2部のパレードを自分たちで創りあげる。これらのことは、まさに新たなことを生み出していく「創造力」となります。そして、自分たちが考え出したものを多くの人たちの前で発表することでお互いを認め合い、達成感を感じることが「自己肯定感」の向上につながります。

【ワークショップ講師実績】

- ・年間30校以上で学会会アドバイザー(演技指導)
- ・児童相談所、養護施設でのコミュニケーションワークショップ
- ・各自治体での教職員研修における表現あそびワークショップ、コミュニケーションワークショップ(八王子市、荒川区、江戸川区、墨田区など)
- ・新宿区入学前プログラム講師
- ・東京都小学校児童文化研究会研究発表大会におけるワークショップ、公開授業

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

①エンディング曲/全校 ②パレード/最大35名

ワーク
ショ
ップ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

【実施形態】

第1部(45分) 体育館 全校児童・生徒対象
第2部(45分) 体育館 出演する児童・生徒対象

【実施内容】90分

*第1部(45分)

まず、公演全体の流れを説明し、その中でとても大事な場面を受け持っていていただくことを伝え、子どもの期待感を高めます。

- ・心と体を開放するアイスブレイクとシアターゲーム
- ・発声や滑舌など、顔と声帯のトレーニング

・事前にエンディング曲の歌詞と音源をお渡しして、曲を覚えてもらいます。

ワークショップの当日、みんなで歌の練習をし、さらにその学校のオリジナルの歌詞を創ります。

自分のまわりやそばにある「自分にとって励ましや元気をくれるもの」はなにかを出し合い、二番の歌詞として構成します。歌詞を選ぶ過程で、児童同士の対話が生まれるよう講師が進行します。

【歌詞】

深く息を吸って吐いてごらん 何が聞こえるだろう
 いろんな音が君の周りにあって 励ましをくれるのさ
 それは 風の音かも トンボの羽音かも 屋根の雨音かも
 赤ちゃんの泣き声 隣のくしゃみ みんなの声
 少しだけ目を開いて 耳をすませば受け取ることが出来る
 いつだって いつだって いつだってそばにあるんだよ
 いつだって いつだって いつだってそばにいるんだよ
 *下線部分の作詞をして、二番で歌っていただきます。

*休憩(10分)

*第2部(45分)

・主人公、彩花が裸の王様の本の中で王様のパレードを新たに考え出します。

原作では王様が裸でパレードをする場面ですが、彩花の考えたパレードは「誰でも主役」のパレードとなります。この場面に児童・生徒が街の人として参加します。

・劇団員と表現遊びをしながら、どんな街の人(人でなくても構いません)なのか、年齢は? 職業は? 服装は? 歩き方は? など、子どもたちの発想を生かしながら一人ひとりが主役のパレードを創りあげます。

・本公演当日の流れを説明し、リハーサルも行います。

【任意】本公演でパレードに出演する際の役になるための扮装や小道具などは無くても成立しますが、子どもたちの希望があればご用意ください。(たとえば、コックさんだったらお玉とお鍋を持つ、ヒーローのマント、ウサギの耳など、一点ものでもじゅうぶん楽しいと思います。)

その他ワークショップに
関する特記事項等

- ・特別支援学校等で実施する場合は子どもたちの状況を学校と綿密に事前打ち合わせを行い、可能な限りパレードを子どもたちのペースに合わせたものに改良していきます。
- ・実施時間(2時限)、参加人数はあくまでも理想です。多い場合、少ない場合はよく打ち合わせて丁寧に進めます。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
	会場の設置階の制限	2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		A以上	
	舞台設置面積	間口	13 m	奥行	9 m		
		高さ	3.6 m				
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可		
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2.2 m		
	遮光の要否	不要		緞帳の要否		有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		条件なし		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10 m以内	
	搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台		
	搬入車両の大きさ	車幅	2.19 m	車長	6.54 m		
備考	LED照明を持ち込むので、電量は問いません。						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	搬入間口、経路は図面に記述あれば提出不要	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	鑑賞対象となる児童・生徒全員	任意	任意	歌を覚える	WS近くになりましたら、給食の時間に流していただくなどして、歌を覚えておいてください。
ワークショップ						
本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	任意	任意	歌の練習	WS後、本公演近くになったら歌を練習してください。	
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	任意	任意	パレードに参加する児童・生徒の衣装・小道具の準備	あくまで任意です。衣装したい人だけご準備ください。	

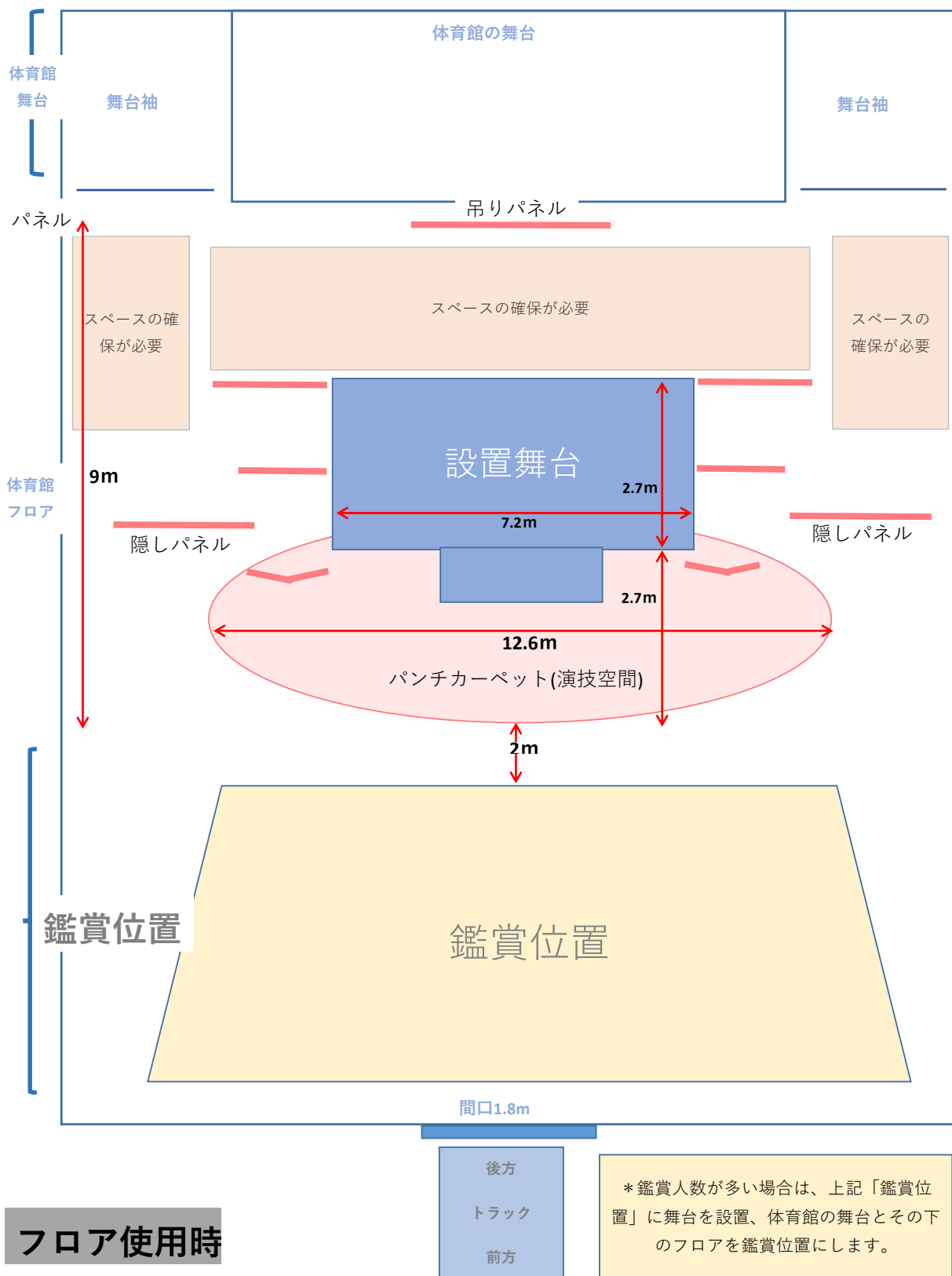
個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	トラックの他にワゴン車(ハイエース)一台も体育館のそばに停めさせていただけると有難いです。
	2	体育館が二階以上の場合は準備に+ αの時間をいただく場合がございます。
	3	客席材料としてマット・ひな壇・パイプ椅子、控室として体育館近くのお部屋をお借りする場合がございます。

(任意)

会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

劇団風の子

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

劇団風の子は1950年から一貫して先生方と共に、学校内における演劇鑑賞教室を広げてきました。全国を視野に入れた展開ですが、拠点である首都圏を見ると、もっとも演劇鑑賞教室の実施が広がった1990年代に比べ現在の実施率は45%を切る状況です。コロナ感染症の影響もあり、激減しています。

本事業は居住している地域、家庭の経済事情、学校の規模等の様々な事情に左右されることなく、全ての児童青少年が豊かに文化芸術を享受することができ、高い評価を得ています。

過去本事業で劇団風の子が実施した学校では、子どもたちはもちろん、先生方、保護者の皆さんも楽しんでくださり、学校の授業時間の中で実施する演劇鑑賞教室の教育的意義、効果を実感していただきました。

本事業を生かし、学校の先生方はもちろん、教育委員会、校長会、PTA、地域などにも働きかけ、演劇鑑賞教室の回復を実現していきたいと考えます。

鑑賞のみならずワークショップ、本公演の出演という体験を通して、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力、表現力の育成を図ります。達成感を得ることで自己肯定感が上がり、それは子どもたちのこれから生きる力となり豊かな未来を作ることになると信じています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

- ・地元メディア等にも本事業を広く周知出来るよう働きかける。
- ・劇団ホームページ、SNSに本事業の様子を掲載し(子どもたちのプライバシーは保護いたします)、より多くの方々に知っていただくよう努める。
- ・実施後のフォローアップで先生方から感想や事後の子どもたちの様子を伺い、他校や他地域へも広めていく。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

- ・**事前に**…作品資料、DVD、ワークショップ内容の説明、打ち合わせ内容など送付します。その後、電話で、ワークショップの日程を学校のご都合に合わせて取り決めます。その時ワークショップの内容を詳しく説明します。
- ・**事前ワークショップの際に、担当の先生と公演当日の進行、搬入経路の確認、客席のつくり方など丁寧な打ち合わせを行います。**

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

- ・**本公演当日**…舞台準備後、パレードのリハーサルを行います。のびのびと楽しんで表現出来るよう、アイスブレイクをして心とからだを解放します。その後、子どもたちとリハーサルを行います。
- ・**本公演直前**…全校児童・生徒が揃ったところでエンディングの曲の練習をします。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

- ・本作品は最後に主人公の彩花が「推薦図書」を「推薦好きなもの」と形を変えて発表する場面があります。公演終了後、本作品の俳優、スタッフ一同が「推薦図書と推薦好きなもの(推しているもの、推している理由)」を大きな紙に書いて学校においていきます。掲示していただいたそれを見て、**子どもたちが読書好きになり図書室に足を運んでもらったり、本や好きなもの発表してもらったりなど、事後の取り組みに生かしてもらえたらと思います。**

ビジュアル・イメージ



リンク先	No.2	【公演団体名	劇団風の子	】
------	------	--------	-------	---

ビジュアル・イメージ

